

「手仕事の技—小野路のメカイ作り再発見—」展の実施報告について

1 開催期間

2026年1月19日（月）～1月30日（金）

2 会 場

町田市役所1階イベントスタジオ

3 観覧者数

1168人／11日間（1日平均：106人）

4 展示資料

（1）町田市教育委員会所蔵資料 11点

（2）小野路のめかい 篠・竹細工伝統技能保存会借用資料 29点

5 展示概要

本展では、メカイかごの実物やメカイ作りに実際に使用される道具、材料などを展示するとともに、メカイの用途や歴史、制作の工程、保存・継承に取り組む「小野路のめかい 篠・竹細工伝統技能保存会」の活動などをパネルにて展示し、町田で受け継がれてきたメカイ作りの歴史と現状を紹介しました。

また、メカイ作りの工程や様子をより分かりやすくお伝えできるよう、担当学芸員が2年にわたって保存会の活動に参加して制作した動画を放映したほか、展示解説冊子の配布も実施しました。



▲会場の様子



▲展示解説冊子

6 関連イベント

(1) 担当学芸員による展示解説

実施日：1月25日（日）、1月28日（水）

観覧者数：97人（内訳：25日45人、28日52人）

(2) 展示関連図書コーナー設置

会場：木曽山崎図書館

期間：1月9日（金）～2月11日（水・祝）



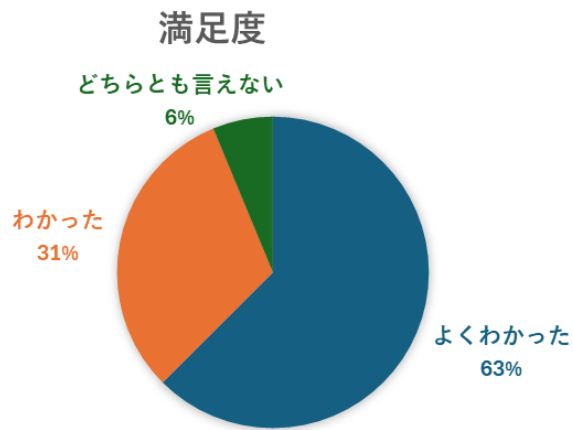
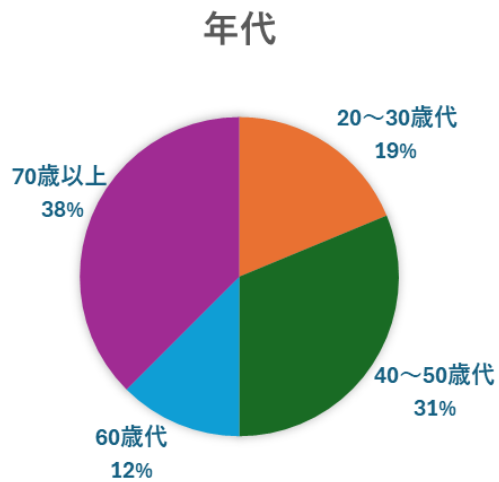
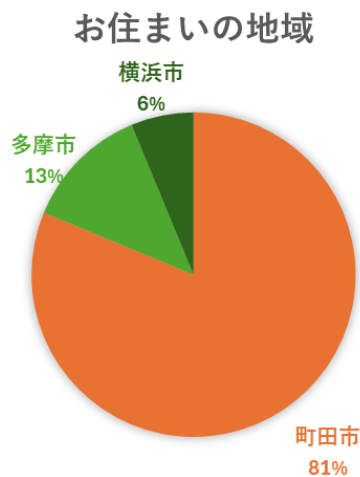
▲展示解説会の様子



▲展示関連図書コーナー

7 観覧者アンケートの結果

今回の展覧会アンケートでは、20代から70歳以上までの幅広い層から回答を得ることができました。観覧者はメカイ作りの背景や工程に関心を持ち、鑑賞するだけではなく、メカイ作り体験やメカイの購入といった直接的な関わりも求めていることがわかりました。地域の伝統技術を、貴重な財産として、これからも残していきたいという意識が共通して見られました。



- 大掛かりなものではないけれど、篠竹がどの様に使われていたのかなど、身近で良い資料だと思いました。是非小・中学校などで体験、随時展示などして欲しいと思いました。
- 動画で編んでいる様子も見られて良かったです。動画もあり理解が進みました。購入もできたらよかった。ワークショップも体験してみたい。
- 以前メカイ作成のイベントに参加したかったのですが、知ったのが遅くて申込み出来ず、その時から興味がありました。町田にこのような貴重な技術があり、廃れてしまうのはもったいないと思います。